

II 芸術文化事業の状況（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

・文芸館

ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター、文化情報プラザ、スカイフォーラム

・市民会館(定員 1,022 名)

・東部市民センター（定員 495 名）

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名	日本自分史センター運営		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
日時	通年（月曜休み）9:00～19:00、自分史相談は毎週火曜日 13:00～17:00		
会場	日本自分史センター		
相談員	芳賀倫子		
入場料等	無料		
利用者数	269 名	利用率	—
		自主財源比率	—
収入	—	助成金	—
		支出	702,269 円
データ	蔵書 8,451 タイトル／寄贈 93 タイトル／書籍貸出 69 冊／相談日数 47 日／相談件数 92 件		
事業内容	<p>(1) 全国の自分史関連団体や個人の自分史作品を受け入れ、収集・保存・公開を行う。</p> <p>(2) 専門の相談員が無料で行う「自分史相談」を定期的で開催し、文章の書き方から書籍発行まで、レベルや要望に合わせて相談に応じている。</p>		
成果	<p>(1) 公共施設が自分史事業を柱にしているのは珍しく、全国各地から来館者が訪れる。大学の研究目的の利用も多い、文化情報プラザにも本棚を設置し、効果的な自分史のアピールを進めている。また、自分史センターならではの蔵書計画を進めていく。</p> <p>(2) 「自分史相談」では、自分史を作りたい人はもちろん、自分史制作後の報告にも訪れている。自分史サークルの定期的な自分史制作活動は、地域交流の場を作りあげている。高齢化が顕著であるが、継続的な活動を支えていく。</p>		
備考			

事業名	自分史講座		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる		
会場	会議室、文化活動室、視聴覚ホール		
受講者数	計 87 名	受講率	—
		自主財源比率	26.5%
収入	96,500 円	助成金	—
		支出	364,761 円
事業内容	<p>(1) 「トークイベント」</p> <p>① vol.1 ひとり出版社が取り組む個人史へのアプローチ</p> <p>5/11（水）19:00～20:30 会議室</p> <p>ゲスト:清田麻衣子（里山社 代表）</p>		

	<p>参加料:500円 (You Tube 配信は無料)</p> <p>参加者数:11名、You Tube 視聴者数:238名</p> <p>②vol.2 “家元に生まれて” 西川千雅さんのファミリーヒストリー</p> <p>7/1 (金) 19:00~20:30 会議室</p> <p>ゲスト:西川千雅 (日本舞踊西川流四世家元)、深谷里奈 (フリーアナウンサー)</p> <p>参加料:500円 (You Tube 配信は無料)</p> <p>参加者数:26名、You Tube 視聴者数:99名</p> <p>③vol.3 “相手” からはじまる人生の物語</p> <p>8/13 (土) 14:00~15:30 視聴覚ホール</p> <p>ゲスト:浅田政志 (写真家)、有門正太郎 (俳優・劇作家・演出家)</p> <p>参加料:500円 (You Tube 配信は無料)</p> <p>参加者数:34名、You Tube 視聴者数:259名</p> <p>(2)「エッセイ講座」</p> <p>6/2~7/21 までの毎週木曜日 18:30~20:30 全8回 文化活動室</p> <p>受講料:4,000円 各回毎に徴収 受講者数 16名</p> <p>講師:芳賀倫子 (日本自分史センター相談員、シナリオライター)</p>
成 果	<p>(1) 自分史の「文章を書く」イメージを払拭し、自分史について気軽に語る・考える場を持つため、トークイベントを開催。「周縁にいる個人の視点」を軸に多ジャンルの本を出版する里山社、家族という視点から自身を語る西川流家元、他人の自分史を元に創作する写真家・劇作家とのイベントを展開。オンラインでも配信し、様々な視点を獲得することができた。</p> <p>(2) 書くことを楽しむとともに、一人ひとりが作品を発表し、他人の作品を聞く時間も有意義であると、コロナ禍で全10回だったものを8回に減らしたが、評判だった。その後、芳賀氏が講師を務めるエッセイクラブへ2名が入会。文章を書くことの魅力を感じてもらい、自分史人口の輪を広げることができた。また、講座をきっかけに、参加者をトークイベントや他の自主事業などへ導くことができた。</p>
備 考	

事業名	公募自分史		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる		
募集期間	6/15 (水) ~10/1 (土)		
審査員	芳賀倫子 (日本自分史センター相談員、シナリオライター)、小松原康平 (中日新聞記者)		
監 修	芳賀倫子 (日本自分史センター相談員、シナリオライター)		
入場料等	無料		
利用者数	—	利用率	— 自主財源比率 2.2%
収 入	22,957円	助 成 金	— 支 出 1,059,279円
データ	応募数/165作品 作品集への掲載/35作品 作品集/1冊 1,000円 (税込)		

事業内容	初心者でも比較的取り組みやすい短編の自分史作品を全国から公募。20 回目を迎えた。今回のテーマは「はじめまして」。「出会い」や「楽しみ」、「生き方」にまつわる自分史作品を募集した。
成 果	応募点数は昨年より 30 作品ほど減少したが、北海道から九州まで、全国各地から応募があった。年齢は 14 歳から 93 歳まで（平均 63 歳）の幅広い年代からの作品が集まった。また、今年度より作品集に作者の年代を掲載することで、作者や作品の背景を伝えられるようにした。
備 考	

(2) 美術系事業

事業名	木村セツ 93 歳セツの新聞ちぎり絵原画展		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	4/28 (木) ~ 5/22 (日) 10:00~17:00 22 日間 月曜休館		
会 場	ギャラリー		
出品作家	木村セツ (新聞ちぎり絵作家)		
入場料等	300 円、高校生以下無料 677 名、障がい者・介護者無料 623 名		
入場者数	8,843 名	入 場 率	— 自主財源比率 226.1%
収 入	2,599,116 円	助 成 金	— 支 出 1,149,397 円
事業内容	90 歳から創作活動を始めた、奈良県桜井市在住・93 歳の新聞ちぎり絵作家、木村セツの原画約 120 点を展示。		
成 果	話題性のある作家のキャリア初となる大規模個展を実現させることができた。通常の新聞広告やバス広告に加え、中日新聞社の協力で愛知県全域・岐阜県の一部・浜松市の新聞販売店折込チラシにも情報掲載できたため、幅広い地域からの集客に成功した。有料の展覧会でありながら、22 日間の会期で 8,843 名が来場した。入場料や物販手数料収入を多く得たことに加え、業者に委託せず職員の手で作品の借用、額装、返却作業を行ったことで支出を大幅に削減できたため、自主財源比率が 200%を超える結果となった。		
備 考			

事業名	浅田政志 写真展「Life Stories」		
新型コロナウイルスによる影響	令和 2 年度に開催予定だった展覧会の振替開催		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	11/26 (土) ~12/18 (日) 10:00~17:00 20 日間 月曜休館		
会 場	ギャラリー		
出品作家	浅田政志 (写真家)		
入場料等	500 円、25 歳以下 300 円 (28 名)、高校生以下無料 198 名、障がい者・介護者無料 139 名		

入場者数	1,606名	入場率	—	自主財源比率	13.4%
収入	713,029円	助成金	—	支出	5,314,951円
事業内容	家族写真をテーマに全国で活躍する写真家・浅田政志の写真作品および新作「私の家族・春日井版」を含め、167点を展示。				
成果	浅田氏の代表的な「家族写真」から、個人の視点に着目した「私の家族」への変遷を提示した展覧会は、「自分史」の新たな展開となった。新作制作は東海テレビでドキュメンタリーとして取り上げられ、被写体へのインタビューは中日新聞夕刊一面に掲載された。浅田氏や展覧会を核として、関わった人々同士が連帯を高め、地域にゆるやかなコミュニティを形成することができた。				
関連事業	<p>(1) ワークショップ「私の一枚」 9/19(月祝) 14:00～16:00 会議室 参加料:2,000円、中高生1,000円 講師:浅田政志 参加者数:19名</p> <p>(2) アーティストトーク&サイン会 11/26(土) 15:30～17:00 視聴覚ホール 参加無料(要展覧会観覧券) 登壇者:浅田政志 参加者数:120名</p> <p>(3) 浅田政志による“おもかげ”撮影会 11/27(日) 9:00～18:00 会議室 参加料:6,000円(台紙・データ付各1点) 被写体数:10名 参加者数:26名</p> <p>(4) ACP啓発イベント「写真家 浅田政志氏 スペシャルトークショー」 (春日井市民病院主催) 11/28(月) 11:30～12:30 市民病院・講堂 参加無料 参加者数:95名</p> <p>(5) 春日井高校アウトリーチ「写真家・浅田政志さん放課後おはなし会」 12/2(金) 15:30～16:30 図書室 参加無料 参加者数:52名</p>				
備考	協力/キヤノンマーケティングジャパン株式会社 助成/一般財団法人自治総合センター(助成金:3,000,000円) 市歳入				

事業名	生誕45周年記念 ねずみくんのチョッキ展～なかえよしを・上野紀子の世界～				
ミッション	2 鑑賞一みせる				
日時	2/17(金)～3/19(日) 10:00～17:00 27日間 月曜休館				
会場	ギャラリー				
出品作家	なかえよしを・上野紀子(絵本作家)				
入場料等	700円、学生の特券(小中高生)300円(713名)、未就学児無料2,394名、障がい者・介護者無料562名				
入場者数	9,665名	入場率	—	自主財源比率	99.7%
収入	5,605,335円	助成金	—	支出	5,625,199円
事業内容	1975年に刊行され、世代を超えて愛され続けている絵本「ねずみくんのチョッキ」シリーズの原画約160点を展示。2019年に45周年記念として企画された全国巡回大規模展覧会。春日井は9か所目の開催となった。				

成 果	春日井市内の幼稚園、保育園に全園児分のチラシを発送したことや、小学二年生以下のお子様に先着順で「耳とチョコッキ」のプレゼントを実施したこともあり、27 日間の会期で 9,665 名が来場し、当財団主催展覧会の過去最多を記録した。また物販売上が、合計 10,701,719 円と大変好調であった。アンケートからも展覧会の内容について「満足」「まあ満足」の回答が 98.7%と多くの来場者に、満足いただけたことがうかがえた。
関連事業	ねずみくんの絵本シリーズ 読み聞かせ会（協力/春日井市図書館） 2/19（日）、3/12（日）①14:30～ ②15:30～（計4回 参加者 386名）
備 考	企画/ねずみくんのチョコッキ展実行委員会 特別協力/ポプラ社

事業名	みんなの美術部 2022		
ミッション	6 人材育成—はぐくむ		
入場料等	1日 500 円、小中高生 300 円 (4) のみ 2,000 円、高校・大学生 1,000 円、小中学生 500 円		
参加者数	211 名	入 場 率	—
		自主財源比率	56.1%
収 入	143,000 円	助 成 金	433,746 円
		支 出	1,028,807 円
事業内容	<p>誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講座を企画。作品制作だけでなく、鑑賞することや話し合う時間も重視して実施した。</p> <p>前期（1）芝康弘先生・鈴木佐和子先生の「身近な自然をスケッチしよう」 会場:グリーンピア春日井 ① 5/14（土）② 5/15（日）9:30～12:30 講師:芝康弘・鈴木佐和子（日本画家）参加者数 ①22名 ②21名 計 43名</p> <p>（2）鈴木淳子先生の「デッサンに挑戦して、“みる力”を磨こう！」 会場:交流アトリウム ① 6/12（日）② 6/19（日）13:30～16:00 講師:鈴木淳子（日本画家）参加者数 ①25名 ②22名 計 47名</p> <p>後期（3）林幸秀先生の「デッサンに挑戦して、“みる力”を磨こう！」 会場:会議室 ① 1/21（土）② 1/29（日）10:00～12:30、14:00～16:30 講師:林幸秀（造形作家） 参加者数 ①15名/14名 ②12名/15名 計 56名</p> <p>（4）上山明子先生の「漆の魅力を知って、乾漆ブローチをつくろう！」 会場:会議室 2/11（土・祝）10:00～12:00/14:00～16:00 講師:上山明子（乾漆彫刻家）参加者数 26名/22名 計 48名</p> <p>（5）木村徹先生の「みんなの夢を形にする！カーデザインの世界」 会場:会議室 2/25（土）10:00～12:30 講師:木村徹（カーデザイナー） 補助講師:岡本浩志（カーデザイナー）参加者数 17名</p>		

成 果	10代から70代までの幅広い年齢層の参加者を集め、感染予防対策を取りつつ、世代間交流を促進することができた。今年度はデッサン講座を前期と後期に開催し、継続して基礎的なスキルを身につけたい参加者の要望に応えた。また、カーデザイナーによる専門性の高い講座なども開催できた。市民が自分自身の成長を感じ、新しい発見が得られる場を十分に提供することができた。
備 考	助成/子どもゆめ基金

(3) 舞台系事業

事業名	お勢、断行				
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（6/4:699席、6/5:712席、一部ディスタンスシートあり）				
ミッション	2 鑑賞一みせる				
日 時	① 6/4（土）18:00～20:00 ② 6/5（日）13:00～15:00				
会 場	市民会館				
出 演	倉科カナ、福本莉子、江口のりこ、池谷のぶえ、堀井新太、粕谷吉洋、千葉雅子、大空ゆうひ、正名僕蔵、梶原善				
入場料等	7,000円、25歳以下3,500円（①42名、②19名）、学生の特券（小中高生）500円（①61名、②62名）				
入場者数	計1,372名	入場率	97.2%	自主財源比率	89.8%
収 入	8,417,057円	助成金	3,049,000円	支出	12,771,505円
事業内容	江戸川乱歩の原作をもとに倉持裕が創作、平成29年に上演された「お勢、登場」の新作演劇。互いに独特な世界感を持つ倉持氏と江戸川乱歩の融合を楽しんでいただくほか、テレビドラマ等で活躍中の実力ある俳優陣が出演する舞台を鑑賞する機会を提供する。また、廉価な価格設定のチケットを設け、劇場へ訪れたことがない若年層へのハードルを下げる。				
成 果	豪華な俳優陣の演技だけでなく、手引きならではの大道具の動きとデジタル演出との融合など、拘りが詰まった本格的な演劇公演をご覧いただけた。アンケートには「初めて演劇を見たがとても感動した」という声も多く、生の演劇の魅力を体感していただくことができた。また、合計123名の学生に最新の舞台作品の鑑賞機会を提供できた。				
関連企画	6/2（木）名古屋芸術大学生仕込み見学（2年生24名） プロダクションマネジャーの勝康隆氏が仕込みの状況や、舞台セットの仕組み、舞台の仕事に関する進路相談などに応じた。				
備 考	助成/芸術文化振興基金助成金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）、瀬戸信用金庫地域振興協力基金				

事業名	夏井いつき句会ライブ		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（862席、84%、一部ディスタンスシートあり）		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	7/10（日）14:00～16:00		
会場	市民会館		
出演	夏井いつき		
入場料等	3,500円、学生の特券（小中高生）500円（34名）		
入場者数	707名	入場率 82.0%	自主財源比率 128.8%
収入	2,385,788円	助成金 —	支出 1,852,320円
事業内容	人気テレビ番組「プレバト!!」へのレギュラー出演によって圧倒的な知名度を誇る俳人・夏井いつきによる、大人数で一緒に楽しむことのできる新しい形式の「句会」。老若男女に俳句の魅力を伝えてきた夏井から「作句のコツ」を教わり、観客自らその場で作句し、皆でグランプリを決めることで、表現することや、創作を通じたコミュニケーションの楽しさを体験してもらい、俳句に親しむ機会を提供する。		
成果	夏井氏の歯切れよく分かりやすい解説と、観客参加型の内容で、初心者でも楽しく俳句の魅力を体感できる公演であった。その場で観客が作った俳句について感想を言い合い、拍手で今日のグランプリを決めるシーンでは、会場は度々笑いに包まれ、一体感あふれる空間となっていた。アンケート回答でも「自分が俳句を作るとは思わなかった」「初心者だが俳句をやってみたいと思った」という声が多く、俳句の裾野を広げるきっかけとなり、短詩型文学祭への応募につながる取組みにもなった。		
備考			

事業名	松竹歌舞伎舞踊公演		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（719席、70.3%、一部ディスタンスシートあり）		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	7/13（水）13:30～15:20		
会場	市民会館		
出演	中村芝翫、中村橋之助、中村福之助、中村歌之助、中村松江		
入場料等	S席7,500円、A席5,500円、B席3,500円、25歳以下1,500円（4名）		
入場者数	655名	入場率 91.1%	自主財源比率 60.5%
収入	4,279,795円	助成金 —	支出 7,076,552円
事業内容	春日井市で約半世紀近く開催している歌舞伎公演。身近で一流の伝統芸能に触れる機会として浸透している。コロナ禍により2年連続で巡業公演が中止となり、歌舞伎公演再開を望まれる声も多かった。歌舞伎役者らによる舞踊を久しぶりに体感していただく機会とする。		
成果	令和2年度の公演中止で巡業が叶わなかった中村芝翫親子による舞踊公演となった。感染対策の観点から演目が舞踊に限られた公演となったが、ユニークな動作や色合いが華やか		

な衣装や道具を使う演目で来場者を楽しませた。公演アンケートには歌舞伎公演の素晴らしさに久々に触れることができた喜びの声が多くみられ、歌舞伎公演が市民にとってなじみ深いものになっていることを再確認することができた。

備 考

事業名	キーウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（933席、91.2%）		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	9/10（土）15:00～16:50		
会 場	市民会館		
出 演	キーウ・クラシック・バレエ		
入場料等	6,500円、25歳以下2,500円（33名）、学生の特券（4歳～高校生）1,000円（227名）		
入場者数	788名	入場率	84.5%
		自主財源比率	81.9%
収 入	3,764,790円	助成金	—
		支出	4,598,346円
事業内容	大盛況を博した平成27年度の「チャイコフスキー3大バレエ・ハイライト」で第1幕2場のみを上演した「白鳥の湖」を、今回は全幕上演。バレエ教室の数も多い春日井で、プロのバレエ公演を鑑賞する機会を提供する。		
成 果	コロナ禍により令和2年度の公演が中止となり、突然の戦禍で再び上演が危ぶまれたが、無事上演にこぎつけ、素晴らしい演技で来場者たちを魅了した。市内をはじめとするバレエ教室に通う子ども達の来場も多く、プロのバレエダンサーが馴染みの演目を踊ることで大きな感動と夢を与えることができた。初めてのバレエ公演に感動したという声のほか、大きなホールより間近にダンサーを見ることができてうれしかったという声も聴かれ、手頃な金額でかつ見ごたえあるバレエ公演をお届けすることができた。		
備 考	日本赤十字（ウクライナ）人道危機救援金募金箱を設置（募金額118,576円）		

事業名	MYSTERYNIGHTTOUR2022 稲川淳二の怪談ナイト～稲川怪談30年連続公演～		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	10/2（日）16:00～18:00		
会 場	市民会館		
出 演	稲川淳二		
入場料等	5,800円、当日6,000円		
入場者数	629名	入場率	66.5%
		自主財源比率	64.8%
収 入	3,562,897円	助成金	—
		支出	5,501,320円
事業内容	1993年の初演以来、1年も途切れることなく毎年開催され、各地で多くのファンを生んできた「稲川淳二の怪談ナイト」。現在の怪談ブームの礎となった舞台が、30周年を記念するツアーとして、初めての春日井公演を開催する。稲川淳二の語る怪談は、ただ怖いだけで		

	はなく、芯から身震いする恐怖の中に、人間の想いや魂が持つ愛や優しさを感じられる「本物の怪談」である。恐怖に震えながらも「聞いてよかった」という満足感を味わえる、生の舞台ならではのエンターテインメントをお届けする。
成 果	春日井で初めての開催となった本公演。2時間休みなしで語られる稲川の熱のこもった怪談の世界に、多くの観客が魅了された。後半の「心霊写真紹介コーナー」では、ユーモアを交えたトークから、稲川の暖かな人柄が感じられ、ただ怖いだけではない、満足感のある公演となっていた。また、ロビーに設けられたのぼりや記念撮影スポット、凝った舞台セットなども来場者の目を楽しませ、公演の雰囲気盛り上げた。30～40代の男性など、普段とは異なる客層に来場していただくことができた。
備 考	

事業名	OKB 大垣共立銀行 presents 春日井まつり前夜祭 元ちとせコンサート 2022in 春日井		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	10/14 (金) 18:45～20:15		
会 場	市民会館		
出 演	元ちとせ		
入場料等	4,800 円		
入場者数	450 名	入場率	46.0%
		自主財源比率	104.4%
収 入	4,588,905 円	助成金	—
		支出	4,397,189 円
事業内容	春日井まつり実行委員会から業務を請け負っている「春日井まつり前夜祭」。今年度は、2002年にリリースした「ワダツミの木」が社会現象的な大ヒット曲となった元ちとせ。デビュー20周年となった元ちとせのデビュー曲から最新曲までの数々をお届けするコンサート。		
成 果	ヒット曲や最新曲を披露し、歌声で来場者を魅了した。歌だけでなく奄美大島の文化を紹介するなど充実した内容のコンサートとなった。		
備 考	主催/春日井まつり実行委員会、春日井市 特別協賛/OKB 大垣共立銀行		

事業名	生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会《室内楽版》		
ミッション	1 創造一つくる		
日 時	2/19 (日) 15:00～18:20		
会 場	市民会館		
出 演	高橋多佳子 (ピアノ)、磯絵里子 (ヴァイオリン)、中島麻 (ヴァイオリン) 吉田有紀子 (ヴィオラ)、新倉瞳 (チェロ)、加藤雄太 (コントラバス)		
入場料等	4,000 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (75 名)		
入場者数	644 名	入場率	64.8%
		自主財源比率	122.6%
収 入	2,267,623 円	助成金	983,000 円
		支出	2,651,026 円
事業内容	春日井での「のだめ音楽会」《室内楽版》初公演。原作の漫画に登場する室内楽曲を中心に、		

	<p>全国で活躍する6名の演奏家が登場した。昨年度東部市民センターで実施した「のだめ音楽会《ピアノ版》」にも出演した高橋多佳子を中心となり、室内楽の聴きどころや楽曲の魅力を親しみやすくお話ししながら進行した。途中、演奏者一人ずつのお話とデモ演奏も交え、一人一人がソリストかつ協力して音楽を創り上げる仲間である、という室内楽の面白さを丁寧に伝えた。「クラシック音楽に興味はあるが詳しくはない」という本公演がターゲットとするお客様の理解を助けるため、今回も「のだめ音楽会」恒例の漫画のシーンや楽曲解説を入れたスライド投影を行った。</p>
成 果	<p>室内楽はオーケストラやピアノと違い、あまり意識して聴かれないジャンルで、一般的にはクラシック音楽の中でも集客が難しいとされるが、「のだめ音楽会」を長年継続してきた効果か、まずまずの来場者数を達成した。また市民会館のような大きなホールで室内楽公演を行うことについて音響的な不安もあったが、演奏者の卓越した技術によってしっかりと音が客席に届き、会場の音響に関する不満がアンケートで指摘されることはほぼ無かった。また原作の漫画には登場しない作品も取り入れ、「のだめ」やこのコンサートを通じて、より興味を持って様々な曲を聴いてほしいという演奏者の思いが届けられた。</p>
備 考	<p>助成/文化庁文化芸術振興費補助金（芸術・音楽堂等機能強化推進事業）</p>

事業名	西村まさ彦の音楽劇「ピーターとオオカミ」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	3/5（日）16:00～17:20		
会 場	市民会館		
出 演	西村まさ彦（語り）、大嶋吾郎（ギター、ボーカル、打楽器等） 副田整歩（サクソフォン、クラリネット、打楽器等）		
入場料等	4,000円、学生の特券（小中高生）500円（40名）		
入場者数	337名	入場率 35.7%	自主財源比率 16.1%
収 入	433,471円	助成金 ー	支出 2,698,174円
事業内容	<p>音楽の教科書にも掲載されている、「音楽物語」の古典的名作を、数々の人気ドラマや映画などにも出演し、広く知られている俳優による語りと、様々な楽器でジャンルを越えた演奏活動を行っている2名のミュージシャンの生演奏で上演する。子供から大人まで楽しめる、質の高い舞台を鑑賞する機会を提供する。また当初、本事業は東部市民センター（495席）での上演を想定していたが、機材設備の観点から、市民会館で実施することとした。これにより客席数が増えたためさらに多くのお客様に鑑賞して頂くべく会員優待プレゼント招待券やペアチケットなどを設定した。</p>		
成 果	<p>元々は「子どものためのオーケストラ入門」という発案で書かれた作品だが、ベテラン俳優西村まさ彦のキャラクターが前面に出た、子供よりもむしろ大人が楽しい上質なエンターテインメントだった。生演奏の2名の創り出す色彩溢れる音響とシンプルだが効果的な照明により語りの持ち味がさらに活かされ、単なる朗読を越えた「音楽劇」と銘打った意味が伝わる内容となっていた。大人からは「思いがけず深い内容だった」といったストーリーに関する感想が多かった。子どもからは「いろいろな楽器があって面白かった」とい</p>		

った音楽に対するコメントが多く寄せられた。	
備	考

事業名	CuttingEdge 狂言真夏の狂言大作戦 2022		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限 (423 席、84.6%)		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	8/27 (土) 14:00~16:00		
会場	東部市民センター		
出演	茂山千五郎、茂山宗彦、茂山茂、茂山逸平、茂山千之丞ほか		
入場料等	3,500 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (12 名)		
入場者数	325 名	入場率	76.8%
		自主財源比率	59.5%
収入	1,042,245 円	助成金	66,736 円
		支出	1,863,479 円
事業内容	平成 29 年、平成 30 年に春日井で上演し、大好評であった大蔵流・茂山千五郎のユニット「HANAGATA」改め「CuttingEdgeKYOGEN」は、古典作品はもちろん、古典を下敷きにした新感覚の新作狂言を上演し、幅広いファン層を獲得している。 狂言の普及に尽力する彼らの公演を春日井で上演することで、多くの方、特に若い世代にも狂言の魅力を伝えるきっかけとする。		
成果	古典の名作「棒縛」とともに、狂言ならではの設定を活かした斬新な新作狂言を披露し、多くの来場者を笑いの渦に巻き込んだ。春日井では 3 回目の開催ということもあり、リピーターの来場も多く、4 年ぶりの春日井公演を喜ぶ声も多く聞かれた。また、夏休みの公演ということもあり、親子連れなど、初めて狂言を観る方にも多く来場していただくことができた。コロナ禍などで沈みがちだった気持ちが明るくなったという感想も多く、幅広い市民に狂言の魅力、明るい笑いを届けることができた。		
備考	協賛/サンマルシェ 助成/文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)		

事業名	春風亭一之輔独演会		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	11/13 (日) 13:00~16:00		
会場	東部市民センター		
出演	春風亭一之輔、春風亭いっ休		
入場料等	3,800 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (13 名)		
入場者数	474 名	入場率	96.1%
		自主財源比率	149.8%
収入	1,744,519 円	助成金	—
		支出	1,164,959 円
事業内容	平成 23 年に 21 人抜きで真打昇進して以来、落語界を牽引し続ける落語家・春風亭一之輔は、「今最もチケットが取れない落語家」と言われ、人気・実力ともにまさに当代随一である。春日井で平成 25 年に「かすがい芸術劇場」として独演会を実施した際は、チケットが		

	即完売となった。9年ぶりとなる春日井での独演会を、東部市民センターで開催し、ニュータウン地区の住民を中心に多くの方が人気作家の高座を鑑賞できる機会を提供。
成 果	チケットは公演1か月前に予定枚数終了となり、改めて一之輔の人気の高さを実感した。満席となった会場には、市内外から幅広い世代の落語ファンが集い、一流の話芸を楽しんだ。飄々とした語り口で笑わせるマクラから、個性的な登場人物を演じ分ける一之輔ならではの古典3席をたっぷり聴かせ、落語ファンを魅了した。
備 考	

事業名	若林顕ピアノ・リサイタル		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	11/27 (日) 14:00～16:00		
会 場	東部市民センター		
出 演	若林顕 (ピアノ)		
入場料等	3,500円、学生の特券(小中高生)500円 (41名)		
入場者数	283名	入 場 率	57.4%
		自主財源比率	144.6%
収 入	1,659,840円	助 成 金	—
		支 出	1,148,219円
事業内容	過去に東部市民センターで実施されていた「春日井市ピアノコンクール」の審査員を務めたこともある、日本を代表するピアニスト若林顕を招いてのピアノ・ソロ・リサイタル。令和3年度に音響設備の改修工事を行い、スタインウェイ・ピアノを導入した会場を活用した事業として、東部市民センターの主催で実施された。		
成 果	若林顕は春日井市の音楽家有志が参加するコンサートグループ「花の詩」と密接な関係にあり、「花の詩」の関係者による宣伝協力を得て、多くの市内の若手演奏家やピアノ教師、またその生徒たちが来場。高蔵寺地区を中心とした市内のクラシック音楽ファンが詰めかけた。演奏内容は世界トップレベルの技術と音楽性に裏付けられた見事なもので、アンケートによる公演内容への満足度100%という結果に表れている。演奏の合間に挟まれたスピーチでは、東部市民センターで人生初の審査員経験をした思い出など、春日井でのエピソードも披露されたほか、終演後のCDサイン会にも多くのお客様が参加され、演奏以外の部分でも奏者の魅力を来場者に伝えることが出来た。そのほか、公演アンケートで「東部市民センターの改修工事による音響改善効果について」の設問には、89%のお客様が改修前より良くなったとの好意的な回答があった。		
備 考	主催/東部市民センター 企画協力/コンサートグループ「花の詩」		

事業名	アン・サリー&カルデミンミット～北欧のクリスマス支度～		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	12/3 (土) 14:00～15:45		
会 場	東部市民センター		

出 演	アン・サリー（歌）、小池龍平（ギター）、カルデミンミット（歌とカンテレ）		
入場料等	4,500円、25歳以下2,000円（3名）、学生の特券（小中高生）500円（20名）		
入場者数	257名	入場率 54.8%	自主財源比率 49.2%
収 入	1,003,314円	助成金 ー	支出 2,039,416円
事業内容	春日井市にゆかりのあるアン・サリーは医師として勤務する傍らコンスタントに音楽活動 を続け、映画主題歌「おおかみこどもの雨と雪」をはじめCMソング等を担当。デビュー 20周年となる令和3年にはNHK連続テレビ小説「おかえりモネ」の挿入歌を歌唱した。彼 女の心地よく人々の心を和ませる彼女の歌声と、フィンランドの伝統弦楽器カンテレ&コ ーラスによって、美しいハーモニーを奏でるカルデミンミットによるクリスマスコンサ ートをお届けする。		
成 果	コロナ禍により令和2年度にはカルデミンミット、令和3年度にはアン・サリーの公演が 中止となった。中止となった2つの公演を1つの公演とし、心地よく美しいハーモニーを 奏で、観客を魅了した。ロビーではクリスマスマーケットを開催し、ほっこりとした北欧 の冬を春日井にお届けすることができた。		
備 考			

事業名	第91回かすがい芸術劇場 三遊亭兼好独演会		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（114席、60%以下）		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	4/17（日）14:00～16:00		
会 場	視聴覚ホール		
出 演	三遊亭兼好、三遊亭兼太郎		
入場料等	3,000円、学生の特券（小中高生）500円（1名）		
入場者数	114名	入場率 100%	自主財源比率 49.3%
収 入	314,600円	助成金 ー	支出 638,153円
事業内容	五代目丹楽一門会を代表する人気落語家であり、明るく軽妙な語り口で初心者から落語フ ァンまで楽しませる古典落語の妙手・三遊亭兼好の独演会。幅広い世代の市民が本格的な 高座を鑑賞できる機会を提供する。		
成 果	演者のテンポよく明るい語り、巧みな演じ分け、表情の豊かさに観客はあっという間に引 き込まれ、会場は何度も大きな笑いに包まれていた。チケットも完売し、春日井の落語フ ァンに満足いただける高座を提供することができた。		
備 考			

事業名	第92回かすがい芸術劇場 月夜のファウスト		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（172席、86.8%）		
ミッション	2 鑑賞一みせる		

日 時	5/22 (日) 14:00~15:45		
会 場	視聴覚ホール		
出 演	串田和美 (俳優)		
入場料等	3,500 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (6名)		
入場者数	105 名	入 場 率 61.0%	自主財源比率 99.0%
収 入	322,000 円	助 成 金 150,328 円	支 出 477,011 円
事業内容	今年 80 歳を迎える日本の小劇場界の草分け、名優串田和美が、コロナ禍初期に着想した 独り芝居。もともと野外で上演されることを前提に、照明、音響、舞台、いずれも演出を 最小限度とした、演劇の根源を問う意欲作。		
成 果	休憩なしで 1 時間 45 分舞台に立ち続ける、串田氏の年齢を感じさせない力強い演技に惜 しみない拍手が送られた。アンケートに寄せられた「人間の無知と欲深さを描いたコロナ 禍の今に重なる内容」という感想に言い表されている通り、串田氏が緊急事態宣言で劇場 活動が完全停止した中で考案した独り芝居は、いままさに取り上げるべき適時性を持つも のだった。また、一人一人のお客様に語り掛けるように進む上演スタイルは視聴覚ホール のような小空間に相応しく、特に演劇ファンには好評を博した。		
備 考	助成/芸術文化振興基金助成金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)		

事業名	演劇×自分史プロジェクト第 4 弾		
ミッション	1 創造一つくる		
日 時	1/14 (土) ①14:00~15:10、②17:00~18:10		
会 場	視聴覚ホール		
講 師	有門正太郎 (俳優・劇作家・演出家)		
入場料等	1,000 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (4名)		
参加者数	570 名	入場率 —	自主財源比率 57.0%
収 入	324,000 円	助 成 金 647,000 円	支出 1,704,196 円
事業内容	演劇創作を通じて、市民とともに「自分史」の魅力を見出すプロジェクト。コロナ禍 でプロジェクトじたい一旦中断したが、リーディング公演を実施することを目標に再開。 参加者の自分史を紡ぎ、演劇公演を創り上げる。 【演劇×自分史】ワークショップ 会議室、視聴覚ホール 9/23 (金祝) ~25 (日)、10/21 (金) ~23 (日)、11/18 (金) ~20 (日)、 12/16 (金) ~18 (日)、1/12 (木) ~14 (土)、3/11 (土) 計 16 回 参加料: 5,000 円、25 歳以下 2,000 円 (1名)、中高生以下 1,000 円 参加者数 24 名 アシスタント 1 名		
成 果	気軽に参加できるよう「リーディング公演」と銘打ち、セリフを覚えるというハードルを 無くすことで、新規参加者 12 名を呼び込むことができた。実施した公演にも新しい観客が 来場し、「演劇×自分史に参加してみたい」という市民が増えた。今回は障害を持つ親子が 参加し、社会の多様性を考える機会にもなった。また上演台本をアーカイブを目的に書籍		

化。演劇という一過性のものでなく、書籍という読み継がれるものを基軸とした展開も、今後検討していく。

備考 助成/文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	昼コン&夜コン、親子のためのはじめての音楽会、 井草聖二スペシャル・ワンコイン・コンサート		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（最大 250 席、通常の 80%以下）		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料（井草聖二スペシャル・ワンコイン・コンサートのみ 500 円）		
入場者数	計 3, 215 名	入場率	－ 自主財源比率 89. 2%
収入	634, 001 円 （寄附金 451, 201 円含む）	助成金	333, 000 円 支出 1, 083, 753 円
事業内容	<p>《昼コン・夜コン》会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウム お喋りを交えた気軽に聴ける無料コンサート。月 2 回、土曜日の昼と金曜日の夜に開催。 「昼コン」から派生した子どもと一緒に生の音楽を聴く経験ができる「親子のためのはじめての音楽会」や、「夜コン」から派生したスペシャル・ワンコイン・コンサートも実施した。出演者は春日井市にゆかりのある演奏者や、当財団の「若手音楽家支援事業」に登録されている演奏グループを中心に起用した。</p> <p>(1) 4/2 (土) 14:00~15:00 第 265 回「すてきな春に」入場者数:177 名 出演:ASTER 近藤加奈子 (ソプラノ)、二川理嘉 (ヴァイオリン)、蒔田裕也 (ピアノ)</p> <p>(2) 4/15 (金) 19:00~20:00 第 266 回「ジャンブル・ナイトでないと！」入場者数:148 名 出演: Jumble Quartet 國領さおり (サクソフォン)、 山部里恵 (ヴァイオリン)、鈴木豊大 (パーカッション)、犬飼裕哉 (ピアノ)</p> <p>(3) 5/7 (土) 14:00~15:00 第 267 回「日本の歌、お好きですか? ~歌で想うお母さん」入場者数:251 名 出演:加藤恵利子 (ソプラノ)、原田綾子 (ピアノ)</p> <p>(4) 5/27 (金) 19:00~20:00 第 268 回「オリエンタル~東の国に憧れて」入場者数:144 名 出演:Trio emmy 鈴木果奈 (ピアノ)、中村真帆 (ヴァイオリン)、 佐藤杏奈 (サクソフォン)</p> <p>(5) 6/11 (土) 14:00~15:00 第 269 回「虹の彼方に~幸せを運ぶ音」入場者数:260 名 出演: クローバー・トリオ 高橋果歩 (ピアノ)、森岡日向野 (フルート)、 松浦絵里奈 (ヴァイオリン)</p> <p>(6) 6/24 (金) 19:00~20:00</p>		

第 270 回「輝く夜空と小さなウィンド・オーケストラ」入場者数:170 名
出演: 楓アンサンブル 上西佑季 (フルート)、牧野仁美 (オーボエ)、
上杉沙代 (ホルン)、三輪昌代 (ユーフォニアム)、佐溝佳奈 (クラリネット)

(7) 9/3 (土) 14:00~15:00

第 271 回「チェロの七変化で彩る晩夏の昼下がり」入場者数:230 名
出演:佐古健一 (チェロ)、原田綾子 (ピアノ)

(8) 9/16 (金) 19:00~20:00

第 272 回「ノリクラ! ノって聴けるクラシック」入場者数:101 名
出演:生田直基 (ギター)、水野慎太郎 (ヴァイオリン)、
野口 UFO 義徳 (ジャンベ)

(9) 10/1 (土) 14:00~15:00

第 273 回「秋のオペラ祭り!」入場者数:186 名
出演: トリオ・エンシャント 西尾結花 (ヴァイオリン)、福田結衣 (ピアノ)

(10) 10/21 (金) 19:00~20:00

第 274 回「癒しのフルート・デュオ」入場者数:127 名
出演: ルピナス 神戸結花 (フルート)、松原未弥 (フルート)、
佐々木唯道 (ピアノ)

(11) 11/12 (土) 14:00~15:00

第 275 回「展覧会へのいざない」入場者数:101 名
出演: トリオ・ビアンカ 安宅真平 (サクソフォン)、稲垣七海 (ユーフォニアム)、
松本成美 (ピアノ)

(12) 12/2 (金) 19:00~20:00

第 276 回「イタリアの街角のクリスマス・コンサート」入場者数:212 名
出演:アンジェロ・アクィリーニ (アコーディオン)、宮澤優子 (ソプラノ)
サルヴァトーレ・ピエーディスカルツィ (ヴァイオリン)

《親子のためのはじめての音楽会》会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウム

9/22 (木) ①10:00~10:30 ②11:30~12:00

第 8 回「FUN と楽しむファンタジーの世界」入場者数:①196 名②121 名
出演:FUN 波多野江莉 (ユーフォニアム)、左合栞 (パーカッション)、河原翌真 (ピアノ)

3/16 (木) ①10:00~10:30 ②11:30~12:00

第 9 回「ようこそ! ジャンカル・ワールドへ」入場者数:①190 名②138 名
出演: Jumble Quartet 國領さおり (サクソフォン)、山部里恵 (ヴァイオリン)、
鈴木豊大 (パーカッション)、犬飼裕哉 (ピアノ)

《井草聖二スペシャル・ワンコイン・コンサート》会場:市民会館

11/25 (金) 19:00~20:20 入場者数:400 名※入場料収入 182,800 円

成 果

「昼コン&夜コン」には平均 180 名が来場、また寄付金額が過去最高を更新するなど、本事業の継続と発展を願う市民の期待の高さを感じる結果となった。また多くの回で春日井

市出身または在住のアーティストが出演しており、地域密着型、地産地消型のコンサートが実現できたほか、「若手音楽家支援事業第3期、第4期登録アーティスト」全5団体が何らかの形で出演し、各団体の音楽家としての成長面で大きな意義があった。毎年「夜コン」への出演が恒例となっている井草聖二のコンサートは、今回初めて有料化しての開催だったが、これまでの無料開催と遜色のない集客数を確保できた。

備考 助成/文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	若手音楽家支援事業		
ミッション	6 人材育成—はぐくむ		
入場料等	ワンコイン・コンサート 500 円（下記のデータは全てワンコイン・コンサートのもの）		
入場者数	計 121 名	入場率	80.6% (150 席満席) 自主財源比率 56.4%
収入	22,274 円	助成金	81,000 円 支出 181,084 円
事業内容	<p>春日井市出身・在住のなど、地元有缘のある若手音楽家たちが地域のなかで音楽家として活動を継続できるようになることを目的に、オーディションで選抜された若手アーティストグループ（登録アーティスト）を3年間にわたり活動支援するプログラム。</p> <p>(1) 「かすがいどこでもアート・ドア」派遣 13 回 [再掲] BULL【第1期登録アーティスト】1回 Trio Primavera【第1期】3回 ASTER【第2期】1回 Jumble Quartet【第3期】3回 FUN【第3期】3回 トリオ・エンシャント【第3期】2回</p> <p>(2) 「昼コン・夜コン・親子のためのはじめての音楽会」出演計7回 [再掲] 4/2 (土) 昼コン ASTER【第2期】 4/15 (金) 夜コン Jumble Quartet【第3期】 9/22 (木) 親子のためのはじめての音楽会 FUN【第3期】 10/1 (土) 昼コン トリオ・エンシャント【第3期】 10/21 (金) 夜コン ルピナス【第4期】 11/12 (土) 昼コン トリオ・ビアンカ【第4期】 3/16 (木) 親子のためのはじめての音楽会 Jumble Quartet【第3期】</p> <p>(3) 「ワンコイン・コンサート」 12/23 (金) 18:30~20:00 「FUN のファンタスティック・クリスマス」 会場: ギャラリー 出演者: FUN【第3期】波多野江莉 (ユーフォニアム)、左合栞 (パーカッション)、河原翌真 (ピアノ)</p>		
成果	コロナ禍により、3年単位で実施すべきプログラムに遅れが生じていたため、今年度は登録アーティストの新規オーディションを実施しなかった。その代わりに「アート・ドア」で		

	<p>の派遣や「昼コン・夜コン」等への出演の機会を充実させ、演奏家としての経験を積むこと、ならびに本事業登録アーティストの市内での認知度向上に努めた。9月からは第3期のオーディション時「候補生」と位置付けられた2団体を正式に第4期登録アーティストとして迎え、両団体は早速「昼コン・夜コン」で登録アーティストとしての公式デビューを飾り、好評を博した。ワンコイン・コンサートはこれまで3年間の支援プログラムの導入イベントとして位置づけられていたが、これを修了イベントに置き換えることとし、今年度は第3期登録アーティストからFUNが出演した。また、会場も視聴覚ホールから、ギャラリーに移した。音響とともに演奏者と客席の距離が近く独特の一体感を持ったギャラリーでのコンサートは、特に音楽面において演奏者の表現意図が聴衆に伝わりやすくなり、演奏者と聴衆両者から好評であった。</p>
備考	<p>助成/文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 寄付金/21,150円（特定寄附金に積立て）</p>

事業名	かすがい日曜シネマ		
新型コロナウイルスによる影響	<p>座席数を制限 (1) 5/8 東部 243名、5/15 視聴覚ホール①97名・②98名 (2) 6/26 視聴覚ホール①99名・②98名、7/3 東部 237名</p>		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
会場	視聴覚ホール、東部市民センター		
入場料等	前売 800円、当日 1,000円		
入場者数	計 1,752名	入場率 62.4%	自主財源比率 83.6%
収入	1,396,700円	助成金 -	支出 1,670,833円
事業内容	<p>舞台芸術や音楽等をテーマとした良質なミニ・シアター系の映画を上映。映画上映前には職員によるミニ・トークを開催。市内ボランティア団体による、音声ガイド付きの上映も行っている。</p> <p>(1) 第88回「チャサンオボ」 5/8 (日) 東部市民センター189名 5/15 (日) 視聴覚ホール①70名、②87名</p> <p>(2) 第89回「だれもが愛しいチャンピオン」 6/26 (日) 視聴覚ホール①57名、②54名 7/3 (日) 東部市民センター139名</p> <p>(3) 第90回「手紙と線路と小さな奇跡」 9/4 (日) 東部市民センター177名 9/25 (日) 視聴覚ホール①74名、②74名</p> <p>(4) 第91回「コーダあいのうた」 12/25 (日) 東部市民センター206名 1/15 (日) 視聴覚ホール①113名、②103名</p> <p>(5) 第92回「20歳のソウル」 1/29 (日) 東部市民センター180名</p>		

	<p>3/12（日）視聴覚ホール①112名、②117名 視聴覚ホールは、①10:15～、②13:30～（②は音声ガイド付き上映） 東部市民センターは、13:30～（音声ガイド付き上映）</p>
成 果	<p>作品選定やミニ・トークが好評で、リピーターも多い。当日の来場者だけが申し込める次回チケットの先行発売も定着し始めており、便利だと好評でリピーターには特に満足度の高い上映会となっている。また、第91回上映の「コーダあいのうた」では上映前のミニ・トークと上映前後のアナウンスに手話通訳をつけ、聴覚障害の来場者にも楽しんでいただける上映会を行うことができた。</p>
備 考	<p>協力/ボイスケイン、ボイスさくら 共催/東部市民センター(東部市民センター上映のみ)</p>

事業名	生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会全国ツアー		
日 時 場	<p>①7/30（土）15:00～17:30 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール ②7/31（日）15:00～17:30 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール ③9/3（土）14:00～17:30 希望ホール（酒田市民会館）《ピアノ版》 ④9/19（月・祝）14:00～16:15 岐阜市文化センター2階小劇場《ピアノ版》 ⑤12/25（日）15:00～18:00 調布市グリーンホール大ホール</p>		
出 演	<p>岩村力（①②指揮） 浅原由香（①オーボエ） 高橋多佳子（①②③④ピアノ） 池田昭子（⑤オーボエ） 猶井悠樹（⑤ヴァイオリン） オブセッション（⑤ピアノ、ドラム） ルミエ・サクソフォンカルテット（⑤サクソフォン四重奏団）</p>	<p>茂木大輔（⑤指揮） 太田糸音（①ピアノ） 兵庫芸術文化センター管弦楽団（①②） 大庭絃子（⑤ヴァイオリン） 桃ヶ丘フェスティバル・オーケストラ（⑤）</p>	
入場料等	—		
入場者数	<p>オーケストラ版4,465名 ピアノ版751名</p>	入場率 —	自主財源比率 1,355.6%
収 入	542,500円	助成金 —	支出 40,020円
事業内容	<p>平成18年から続く、春日井発「のだめ音楽会」の全国ツアー。舞台監督、映像作成・オペレータを当財団職員で行っている。これまでにオーケストラ版113公演、ピアノ版20公演、室内楽版2公演、延べ167,972名動員（春日井公演含む）。</p>		
成 果	<p>西宮公演は、本番前日に茂木大輔氏が新型コロナウイルス陽性となり、急遽岩村力氏が代演、高橋多佳子氏が司会を務め、公演を無事成功させた。9月の酒田公演は、過去に上田市サントミュージゼに勤務していた職員が酒田でアドバイザーを務めている縁で実現した。岐阜公演は台風が迫り、公演の開催が危ぶまれたが、無事開催でき、多くのお客様にご来場いただけた。調布公演は完売の人気となり、豪華出演者の演奏を楽しんだ。</p>		
備 考	<p>企画/茂木大輔、公益財団法人かすがい市民文化財団（オーケストラ版） 企画/高橋多佳子、公益財団法人かすがい市民文化財団（ピアノ版） 制作協力/サントミュージゼ（上田市校交流文化芸術センター）</p>		

事業名	財団サポーター2022		
新型コロナウイルスによる影響	新規登録者募集の中止		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
参加者数	計 31 名	入場率	—
収入	—	助成金	—
		自主財源比率	—
		支出	21,257 円
事業内容	来場者をもてなすボランティアとして、当財団の自主文化事業に参加。また、当財団の良き理解者・支援者を増やしていく側面もある。		
実績	活動公演数 21 回／研修 1 回／登録者数 31 名		
成果	令和 3 年度から、活動を再開している財団サポーター。お客様から「いつも温かい雰囲気でお出迎えてくれる」と好評を得ている。		
備考	今年度の新規登録者はなし。		

(4) アウトリーチ事業

事業名	かすがいどこでもアート・ドア		
新型コロナウイルスによる影響	派遣先判断（コロナ感染拡大が理由）で 1 か所が中止、派遣先を変更。 会場の定員に収めるため、分割して実施（白山小学校、追進保育園等）		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる	6 人材育成—はぐくむ	
入場料	無料		
参加者数	計 4,358 名	入場率	—
収入	—	助成金	770,000 円
		自主財源比率	53.9%
		支出	1,427,978 円
事業内容	<p>日頃、舞台系事業に接する機会が少ない市民に対して、文化・芸術の体験を届けるアウトリーチ事業。音楽や伝統芸能のアーティストを市内各所に派遣し、演奏やワークショップを通して「よき文化芸術の理解者」を増やすとともに、地域のつながりの強化、活性化を図る。</p> <p>(1) 音楽/ASTER※若手音楽家支援第 2 期 近藤加奈子（ソプラノ）、二川理嘉（ヴァイオリン）、蒔田裕也（ピアノ） 12/8（木）第 2 そだち保育園 100 名 ※八幡地区社会福祉協議会が中止・辞退となったため実施。</p> <p>(2) 音楽/Jumble Quartet※若手音楽家支援第 3 期 國領さおり（サクソフォン）、山部里恵（ヴァイオリン）、鈴木豊大（打楽器）、大飼裕哉（ピアノ） ①6/8（水）春日井市立尾東小・中学校（全校児童・生徒）32 名 ②9/15（木）春日井市立下津保育園 136 名 ③9/28（水）春日井市立押沢台小学校（全校児童）183 名</p>		

- (3) 音楽/FUN※若手音楽家支援第3期
- ①12/5 (月) ALL4KIDS ナーサリースクール勝川 100名
 - ②12/15 (木) 春日井市立貴船保育園 150名
 - ③2/28 (火) 愛知県立春日台特別支援学校 (小6、中3、高3) 100名
- (4) 音楽/トリオ・エンシャント※若手音楽家支援第3期
- 中根明日香 (ソプラノ)、西尾結花 (ヴァイオリン)、福田結衣 (ピアノ)
- ①5/25 (水) 春日井市立桃山保育園 92名
 - ②9/7 (水) 春日井市立追進保育園 137名
- (5) 音楽/BULL※若手音楽家支援第1期
- 川地立真、瀧彬友、三輪一登、大嶋漢、石川貴憲 (以上サクソフォン)、山田信晴 (打楽器)
- 10/12 (水) 春日井市立鷹来中学校 (全校生徒) 544名
- (6) 音楽/Trio Primavera※若手音楽家支援第1期
- 林里紗 (フルート)、小笠原歌歩 (オーボエ)、蒔田裕也 (ピアノ)
- ①11/2 (水) 春日井市立第一保育園 240名
 - ②11/16 (水) 春日井市立第二保育園 120名
 - ③2/15 (水) 春日井市立藤山台保育園 200名
- (7) 音楽/内匠慧 (ピアノ)
- 11/22 (火) 春日井市立西尾小学校 (全校児童) 70名
- (8) 音楽・伝統芸能/馬場淳史 (津軽三味線)
- ①5/17 (火) 石筍会 36名
 - ②6/22 (水) 春日井市立白山小学校 (全校児童) 290名
- (9) 伝統芸能/なるみ家笑天 (社会人落語家)
- ①9/17 (土) 八事八明会 34名
 - ②9/24 (土) 押沢台コミュニティネットワーク 40名
- (10) 伝統芸能/藤間勘揚&勘之介 (日本舞踊家)
- ①6/14 (火) 出川町南高砂会 40名
 - ②10/18 (火) 神屋神和会 50名
 - ③11/8 (火) 春日井市立山王小学校 (全校児童) 470名
 - ④11/10 (木) 春日井市立岩成台保育園 200名
- (11) 音楽/Cool MensLa(弦楽三重奏)
- 11/30 (水) 春日井市立松原小学校 (6年生) 120名
- (12) 音楽/瀬木理央 (ヴァイオリン)
- ①10/13 (木) 春日井市立上条小学校 (6年生) 99名
 - ②11/22 (火) 春日井市立西尾小学校 (全校児童) 70名 [再掲]
- (13) 音楽/本橋裕 (チェロ)
- 10/3 (月) 春日井市立岩成台西小学校 (6年生) 55名
- (14) 音楽/原田綾子 (ピアノ)
- 10/3 (月) 春日井市立岩成台西小学校 (6年生) 55名 [再掲]
- (15) 音楽/江川智沙穂 (ピアノ)

	<p>10/13 (木) 春日井市立上条小学校 (6年生) 99名 [再掲] ※内匠慧急病のため代役</p> <p>(16) 音楽/井草聖二 (ギター)</p> <p>①10/17 (月) NPO法人たんぽぽの風 20名</p> <p>②11/25 (金) 春日井市教育支援センターあすなろ教室 30名</p> <p>③11/25 (金) 春日井市立南城中学校 (3年生) 280名</p> <p>④3/10 (金) 春日井市立知多中学校 (1・2年生) 360名</p> <p>(17) 音楽/トリオ・ミシシッピ</p> <p>石川貴憲 (サクソフォン)、鈴木豊大 (パーカッション)、丸尾祐嗣 (ピアノ)</p> <p>5/13 (金) 訪問介護 Masa 夢 30名</p>
成 果	<p>全体で過去最多の30回を数え、参加者数も前年度の2,578名から大幅に増加した。初の試みとして、学校での実施時にはタブレット端末を活用した生徒児童に対してのアンケートを行い、子供たちの生の声を拾い上げより良いプログラムの検討のために活用している。地域団体でのアート・ドアでは、一部の例として派遣団体に所属しない地域住民にも参加を促したり、複数の地域団体が連携してアート・ドアの実施に協力したりすることで、地域の交流の輪を広げることができた。</p>
備 考	<p>助成/文化庁文化振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)</p>

(5) 施設サービス系事業

事業名	<p>スタインウェイピアノ開放します！</p>		
ミッション	<p>3 普及啓発一ひろがる</p>		
日 時	<p>5/3 (火・祝)、4 (水・祝)、5 (木・祝) 8/12 (金)、13 (土)、14 (日) 1/9 (月・祝)、11 (水) 12 (木) ・開催時間 8:45~17:15 (5/3 (火・祝) のみ 12:30~17:15) ・1 枠 1 団体 60 分</p>		
会 場	<p>市民会館</p>		
参加者	<p>公募による抽選で選ばれた人</p>		
入場料等	<p>利用料 1,000 円、録音サービス料 500 円</p>		
参加者数	計 55 組 211 名	入場率	— 自主財源率 65.9%
収 入	63,500 円	助成金	— 支出 96,350 円
事業内容	<p>市民会館のホールを貸し切り、スタインウェイピアノを1時間自由に弾ける企画。毎年好評をいただいております、今年度は5月、8月、1月に開催。</p>		
成 果	<p>1 回目の 5 月には 27 組の応募、2 回目の 8 月には 50 組の応募、3 回目の 1 月には 48 組の応募があり、計 55 組の家族やグループが、家族 4 世代でのプライベートコンサートや動画投稿サイト用の録画など、思い思いの 1 時間を過ごした。</p>		
備 考			

事業名	舞台制作セミナー		
新型コロナウイルスによる影響	演劇版は1回あたりの参加学校を1校に制限		
ミッション	5 活動支援一ささえる		
受講料等	無料		
受講者数	44名	入場率	—
		自主財源比率	68.5%
収入	—	助成金	36,000円
		支出	78,600円
事業内容	<p>市内高校の吹奏楽部と演劇部を対象に、照明・音響・舞台技術・演出方法等の基礎知識を伝えるセミナー。演劇版では春日井高校演劇部を対象に俳優・演出家の有門正太郎氏を講師に招き、1日目は部員全員を対象に演劇の基礎、2日目は製作中の演劇について役者と演出家を対象に演出方法や演技指導を行った。吹奏楽部版では、それぞれの定期公演で応用できる演出方法とその作り方について、具体例を交えながら指導した。</p> <p>(1) 演劇版 講師:有門正太郎(俳優・劇作家・演出家) ① 7/4(月) ② 7/5(火) 16:00~19:00 会場:視聴覚ホール 受講者数 ①22名 ②6名(春日井高校演劇部)</p> <p>(2) 吹奏楽版 1/8(日) 9:30~11:30 市民会館、受講者数4校16名</p>		
成果	<p>演劇版では財団スタッフが舞台道具の製作や音響照明効果のレクチャーを行ってきたが、今回はかねてより要望の多かった演技・演出についてのワークショップを外部から講師を招いて開催した。夏の大会に向けて、演劇の基本レクチャーから現在製作中の演劇への助言を行い、春日井高校は県大会突破と結果につなげることができた。</p> <p>吹奏楽版では演出例を操作映像と共に見学してもらうなどなど実践的な指導を行い、実際に照明・音響機材を操作する体験も行った。受講者は財団スタッフに積極的に質問しながら熱心に学んでいた。</p>		
備考	助成/文化庁文化振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)		

事業名	かすがい文化フェスティバル 2022		
新型コロナウイルスによる影響	すべての講座で人数を制限(適切な距離を取れる人数)		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる	4 地域コミュニティ形成一つながる	
会場	文芸館、市民会館		
参加者数	計482名	入場率	—
		自主財源比率	68%
収入	62,000円	助成金	390,551円
		支出	661,016円
事業内容	<p>夏休み期間に小学生を対象とした体験講座を実施。将棋、茶道、和楽器等様々な伝統芸能文化の魅力を小学生に伝える。その他、親子で市民会館のバックステージツアーが出来る謎解きゲームも開催し、9月には子供を対象としたアニメーション映画を上映。</p>		

伝統芸能体験講座および謎解きゲーム 全 13 講座 26 回 参加者数 380 名

- (1) 「親子で将棋体験！」
7/28(木)①11:00～12:00②13:30～14:30 参加料 500 円
参加者数:25 組 50 名、会場:交流アトリウム
講師:室田伊緒 (将棋棋士、春日井広報大使)
- (2) 「美しいお花をいけよう！」
7/28(木)①10:00～10:50②11:10～12:10 参加料 500 円
参加者数:19 名、会場:会議室
講師:春日井市華道連盟 (春日井市文化協会)
- (3) 「楽しく茶道を体験しましょう！」
7/30(土)①11:00～12:00②13:00～14:00 参加料 400 円
参加者数:34 名、会場:会議室
講師:春日井市茶道連盟 (春日井市文化協会)
- (4) 「自分でゆかたを着てみよう！」
7/30(土)①11:00～12:30②14:00～15:30 参加料無料
参加者数:23 名、会場:視聴覚ホール
講師:春日井着装ききょう同好会 (春日井市文化協会)
- (5) 「サボテンのガラスドームを作ろう！」
7/31 (日) ①11:00～12:00②14:00～15:00 参加料 300 円
参加者数:37 名、会場:視聴覚ホール
講師:クレイクラフト・マロウ (春日井市文化協会)
- (6) 「いろいろな濃さの墨で絵を描いてみよう！」
7/31 (日) 13:30～15:00 参加料:100 円
参加者数:12 名、会場:視聴覚ホール
講師:春日井水墨画協会 (春日井市文化協会)
- (7) 「和太鼓に楽しんでふれあおう！」
7/31 (日) ①11:00～12:00②14:00～15:00 参加料無料
参加者数:6 名、会場:市民会館
講師:道風太鼓 (春日井市文化協会)
- (8) 「親子で囲碁体験！」
8/4 (木)①11:00～12:15②13:00～14:15 参加料 500 円
参加者数:18 組 36 名、会場:交流アトリウム
講師:大澤健朗 (囲碁棋士)
- (9) 「お琴にさわってみよう！弾いてみよう！」
8/4 (木)①11:00～12:00②14:00～15:00 参加料:100 円
参加者数:21 名、会場:視聴覚ホール
講師:新箏曲みどりね会 (春日井市文化協会)
- (10) 「琵琶・胡弓・鼓、いろんな和楽器にふれてみよう！」
8/11(木祝)①11:00～12:00②14:00～15:00 参加料無料

	<p>参加者数:27名、会場:市民会館 講師:春日井市民謡協会(春日井市文化協会)</p> <p>(11)「日本一の和太鼓に挑戦してみよう！」 8/11(木祝)①11:00~12:30②14:00~15:30 参加料無料 参加者数:50名、会場:市民会館 講師:転輪太鼓(春日井市文化協会)</p> <p>(12)「かっこ良く着物を着て、かわいく踊ろう！」 8/18(木)①11:00~12:00②13:30~14:30 参加料無料 参加者数:22名、会場:市民会館 講師:春日井市日本舞踊協会(春日井市文化協会)</p> <p>(13)「親子で挑戦! 謎解きゲーム in 市民会館 vol. 5」 8/25(木)①10:00~②13:00~③15:00~参加料:200円 参加者数:15組43名、会場:市民会館 講師:かすがい市民文化財団職員</p> <p>秋の夕暮れシネマ「ヒックとドラゴン2」屋外広場 ※当日は雨のため会場を屋外広場から交流アトリウムに変更 9/23(金・祝)18:30~20:15 入場料無料 入場者数102名</p>
成 果	子どもたちが普段触れることの少ない芸術文化体験の場をつくることができた。1日およそ2講座とし、開催日を分散させたことで参加者に多くの参加機会を提供することができた。同日に複数の講座を受講することも減り、参加者の講座に対する集中力の向上も見ることができた。
備 考	助成/文化庁令和3年度第一次補正予算事業「子供たちのための伝統文化の体験機全回復事業」

事業名	【共催】第29回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル		
新型コロナウイルスによる影響	例年全員合奏を行っているアンコールを1年チームと2,3年チームに分け演奏		
ミッション	5活動支援—ささえる		
日 時	12/18(日)14:00~16:20		
会 場	市民会館		
出 演	春日井高校、春日井西高校、春日井南高校、春日井東高校、春日井商業高校、高蔵寺高校、中部大学春日丘高校各吹奏楽部		
入場料等	無料		
入場者数	600名	入場率	—
		自主財源比率	—
収 入	—	助成金	—
		支出	—
事業内容	春日井市内7高校の吹奏楽部が一堂に会し、学校の垣根を越えてステージに上がり熱演を繰り広げる、全国的にも珍しい演奏会。本番ではマーチングステージ、グランドステージの2部構成で実施し、アンコールでは1年生合同チームと2,3年生合同チームが演奏し会場を沸かせた。		

成 果	各高校の生徒から選出された「吹奏楽フェスティバル実行委員会」が主体となり、財団職員のレクチャーのもと学校紹介やアンコールの企画構成、チラシやアンケートの作成を行った。チラシ作成では、ターゲットを絞り込み、アプローチを考えながら本公演の特徴をとらえたチラシを作成することができた。当日は幅広い年齢層のお客様が来場し、出演者の熱の入った演奏に客席は大盛況であった
備 考	主催/春日井市高等学校吹奏楽協議会（幹事校:春日井東高校）

事業名	アトリウム音楽祭		
新型コロナウイルスによる影響	同時に舞台上がる人数を制限（マスク無し・歌唱グループの場合:定員最大44名）		
ミッション	5 活動支援一ささえる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料、参加料は運営協力費として1団体5,000円		
入場者数	計2,314名	入場率	— 自主財源比率 105%
収 入	160,000円	助成金	— 支出 152,364円
事業内容	<p>市民参加型の音楽発表会。市内外で活躍しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表。</p> <p>(1) [秋] 9/17 (土)・18 (日) 10:00~17:45 出演団体16組 (253名)、入場者数1,133名 オカリナ・マーゴ、ハーモニー春日井、フラバンドE.n.n.Y、春日井ギターオーケストラ、公益社団法人関西吟詩文化協会公認鷺伸吟詠会東尾張支部、高蔵寺混声合唱団、風の四重奏エオリカ、ムジカアーツ、オカリナ・スプリングウェル、四季ハーモニカクラブ、あけぼの合唱団、かすがいウィメンズブラス、Mālacarte (エム・アラカルト)、コール・ミモザ、ウクレレユニット・レインボーガーデン、カパフラオブアラニプアメリアティアレカハイア</p> <p>(2) [春] 3/18 (土)、19 (日) 10:00~17:45 出演団体16組 (339名)、入場者数1,181名 琴修会春日井支部玉川教室、コーラスグループさくら、ΔOcarina、KahawainaniHulaHalau、PuananiAloha、ハラウ・ワア・カウルア・ハアリ・マオヒ、あんじゅママコーラス&シャルール、マカナニフラススタジオ、アンサンブル椿、hoalimiHula、フラオリタヒチマカリィ、椰子の実ウクレレ倶楽部、JTrio、メロディア、マハロフラ&ポーアコルサークル、春日井市立南城中学校合唱部</p>		
成 果	合唱、オカリナ合奏、テルミンの演奏団体など、様々な音楽団体が舞台上に立った。新型コロナウイルスの感染拡大が始まって3年目となり、合唱団体からの応募が戻ってきている印象を受けた。コロナ禍の状況下でもイベントを継続してきた実績もあり、安心して参加できるイベントとしての認知も広がっていると考え。当初予想していたよりも多くの団体から応募があったため、コロナ禍以前と同数の参加枠を設け、できるだけ多くの団体を受け入れた。		
備 考			

事業名	【共催】かすがい人形劇フェスティバル 2022		
ミッション	5 活動支援ーささえる		
日時	12/11 (日) 24th かすがい人形劇フェスティバル ①10:00~11:40 (133 名入場) ②14:00~15:40 (137 名入場) ③12:00~13:50 (作って遊ぼうコーナー、計 71 名参加)		
会場	視聴覚ホール、交流アトリウム (作って遊ぼうコーナー)		
出演	①人形劇団じゃんけんぼん、人形劇団シツチャカメツチャカ、おしゃべり劇場ぽっけ、人形劇団パン ②人形劇団よろずや〇、人形劇団とんとんとん、マーガレット一家笑劇☆、人形劇団むすび座 ③くれよんの会		
入場料等	① ②前売おとな 1,200 円、こども 700 円、当日おとな 1,400 円、こども 900 円 ③無料		
入場者数	計 341 名	入場率	—
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—	支出	—
事業内容	市内外のアマチュア及びプロ人形劇団が混合で公演を行った。また、午前午後の合間には交流アトリウムで折り紙の体験会を行った。その他、公演までの 1 か月間、出演団体の所有している人形を交流アトリウムで展示したほか、図書館でも関連書籍の展示を行った。		
成果	実行委員会と協議し、今年度からチケット料金を値上げした。それでも公演の 1 ヶ月前には午後のチケットが完売し、また公演前日には午前の部のチケットも完売した。新型コロナウイルス感染症対策のノウハウも生かされ、「作って遊ぼうコーナー」の参加者数を前年比較で 4 倍以上伸ばすことができ、より多くの方に楽しんでもらった。		
備考	主催/愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会		

事業名	【共催】とっておきのクリスマスコンサート		
ミッション	5 活動支援ーささえる		
日時	12/24 (土) 17:30~19:15		
会場	交流アトリウム		
参加者	春日井児童合唱団		
入場料等	無料		
入場者数	228 名	入場率	—
収入	—	助成金	—
自主財源率	—	支出	14,960 円
事業内容	春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサート。ジュニア、シニアに加え、成人した合唱団 OB・OG も参加し、クリスマスソングを歌う。		
成果	新型コロナウイルスの感染拡大対策を見直し、200 名の入場制限や、昼間の公演にするなどの対策を情勢緩和にあわせて撤廃。昨年から設えたステージ前の張り出し舞台の仮設置は、出演者同士が身体的距離を確保しながら合唱でき、演出的にも好評だったため今年も設えた。公演を夜に開催できたことにより、あたたかな照明に照らされた子供たちの優しい歌声が交流アトリウム内に響きわたり、神秘的な夜を演出できた。		
備考	主催/春日井児童合唱団		

事業名	クリスマスワークショップ「ステンドグラス風ランタンをつくろう！」		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 4 地域コミュニティ形成ーつながる		
日時	11/27（日）14：00～15：30		
会場	交流アトリウム		
入場料等	ワークショップ参加費 500 円/組		
参加者数	19 組（34 名）	入場率 95%	自主財源比率 8.8%
収入	9,500 円	助成金 ー	支出 107,857 円
事業内容	蒲郡在住のガラス造形作家を講師に迎え、クリスマスに向けた全年齢対象のワークショップ。参加者はステンドグラス風のランタン2種類を作り、一つは自宅に持ち帰り、もう一つは文芸館4階・スカイフォーラムで約1ヶ月間展示。		
成果	スカイフォーラムのテントエリアにクリスマスツリー型のオブジェを自主制作し、クリスマスシーズンに合わせた飾りつけで賑わいを生んだ。ワークショップ参加者から寄贈されたランタン等の各制作物は次年度以降も継続して使用できるものであり、1回限りのイベントで終わらない、持続可能性も示す企画となった。		
関連企画	（1）講師作品展示 交流アトリウム 11/27（日）～12/25（日）9：00～21：00 ※最終日は17:00まで 「here or there」シリーズ4点 （2）ワークショップ参加者作品展示 スカイフォーラム 12/1（木）～12/25（日）9：00～17：00		
備考			

(6) 広報系事業

事業名	広報宣伝事業		
収入	ー	支出 1,308,311 円	自主財源比率 ー
事業内容	より多くの市民に当財団の活動を“認知・理解・支援”していただくために、マスコミを始めとした外部機関と連携し、当財団及び事業のPRを行った。		
実績	《記事掲載》中日新聞・本誌42回、中日新聞・関連誌8回、中日新聞・販売店誌9回、朝日新聞3回、読売新聞2回、毎日新聞1回、ラジオ9回、ケーブルテレビ5回、雑誌タウン誌40回、Web1回、テレビ7回		
成果	「木村セツ展」は中日新聞販売店が積極的に告知を行っていただいたため、掲載数も多く、過去最高記録の入場者の成果を出すことができた。タウン誌の「まちものがたり」や「はるる」での掲載で、多くの人の手にとっていただき、事業の告知ができるようになった。また、JR春日井駅、JR高蔵寺駅のデジタルサイネージや、交流アトリウムでのCM映像も効果的であった。		
備考			

事業名	情報発信事業		
収入	12,000 円	支出	5,079,340 円 自主財源比率 0.2%
事業内容	自主事業を中心とした文化芸術情報及び施設に関する情報を誌面、HP、SNS や映像等の自社媒体で広く発信した。		
実績	<p>(1) 広報誌「FORUMPRESS」発行4月・7月・10月・1月(4回)、各7,000部 ≪配布状況≫県内331施設、県外50施設に配布 ≪FORUMPRESS レポーター≫登録人数11名、活動公演数8回、研修等1回、参加人数延べ19名、誌面掲載記事1本、HP掲載記事18本</p> <p>(2) HP運営サイトリニューアル</p> <p>(3) SNS運営 twitter フォロワー数1,429名、LINE お友だち人数1,132名</p>		
成果	<p>(1) 「FORUMPRESS」106、107号を発行。特に106号の「木村セツ展」の特集は、展覧会来場者の多くが手に取って早々に在庫が無くなり、特集ページだけ増刷し配布した。また、春日井市で活動するアーティストを表紙や中身で取り上げるにより、多くの文化活動を市民に紹介できた。市民レポーターも積極的にレポート文章を書く活動を続けており、文章力が上がってきている。</p> <p>(2) サイトのリニューアルを行った。「重要なお知らせ」の表示を作り、主催事業等の「応募する」「参加する」を「応募する」に統一。「FORUMPRESS」の特集ページの見直しなどを図り、よりわかりやすいサイト運営を行った。</p> <p>(3) LINEのお友達は3月末から1.5倍増となった。配信頻度を考えながら、新しい情報を発信し続けている。</p>		
備考			

事業名	インフォメーション事業		
収入	71,390 円	支出	1,164,426 円 自主財源比率 6.1%
事業内容	文化情報プラザを拠点に、自主事業の情報提供及び市内外の文化芸術情報の提供を行っている。チケットのWeb販売は平成28年2月に導入した票券管理システムで、コンビニエンスストアでの発券およびクレジットカード決済が可能になった。また、文化情報プラザ窓口でのクレジットカード端末導入によるキャッシュレス決済も運用している。交流アトリウムでは大型モニターを活用して、自主事業の情報を映像で随時発信している。		
実績	<p>≪文化情報プラザ運営≫9:30~17:15</p> <p>≪チケットWeb販売数≫1,693件3,096枚11,324千円(未払分含む)</p> <p>≪チケット入金明細≫・カード決済675件1,227枚・セブンイレブン決済287件502枚 ・現金3,638件6,499枚・郵便振替15件34枚</p> <p>≪文化情報プラザでのカード利用数≫484件898枚3,288千円(3,288,000円)</p>		
成果	チケット購入の際のカード利用件数は、前年度は公演中止が多かったせいもあるが、今年度は前年度の約9倍の利用となっている。また、Web予約も根付いており、予約の半分以上をWeb予約が占めるようになった。それに伴い、来館してチケットを購入する人は減り続けており、プラザの在り方を見直して、チケットカウンター業務を財団事務所に移設した。		

備 考

事業名	友の会事業				
収 入	1,058,396 円	支出	672,035 円	自主財源比率	157.5%
事業内容	自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスを受けられる有料の会員制度で、平成 14 年度から継続して運営している。平成 28 年 2 月より Web のみチケット先行予約が可能な無料の Web 会員制度を導入。				
実 績	≪友の会 PiPi 有料会員≫年会費 1,500 円、731 名（新規入会 215 名、更新 516 名） ≪無料 Web 会員≫7,843 名 ≪提携ショップ≫48 店舗				
成 果	多くの友の会会員が毎年楽しみにしている「松竹大歌舞伎」が「舞踊公演」として 3 年ぶりの上演できたことで、昨年まで減っていた会員が戻ってきた。また、「キウ・バレエ」公演、「春風亭一之輔独演会」など、注目度の高い公演が開催されたため、公演目当てに新規会員も増加した。無料 web 会員も、Web での購入が増えているために、半年で約 1,000 人増加している。				
備 考					

2 受託文化事業

事業名	第71回春日井市民美術展覧会		
新型コロナウイルスによる影響	公開審査は入場定員を設け開催、ギャラリートークは会場を変更し開催		
日時	8/20(土)～28(日) 9:00～16:30(初日10:00開場、最終日12:00閉場) 9日間開催		
会場	市庁舎、ギャラリー		
入場料等	出品・入場無料		
入場者数	8,173名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	4,857,022円	助成金	—
		支出	4,857,022円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象とした公募美術展覧会。審査会員による参考作品も同時に展示。開会式及び表彰式を8/20(土)に開催した。</p> <p>応募629作品</p> <p>日本画34作品、洋画118作品、書209作品、彫塑工芸34作品、写真129作品</p> <p>委嘱作品51作品、参考作品54作品</p> <p>賞/市長賞、財団理事長賞、教育委員会賞、市議会議長賞、観光コンベンション協会会長賞、奨励賞、委嘱特別賞</p>		
成果	<p>展覧会会期の全期間において、新型コロナウイルスまん延防止対策として愛知県内に「BA.5対策強化宣言」が実施されていることを考慮し、公開審査の見学は入場定員を設け開催。審査員によるギャラリートーク(全16回)は交流アトリウムに会場を変更した。</p> <p>3年間取り組んでいるインターネットでの申込受付が78件と昨年と比べ、25件増加し、出品までのハードルを少しでも下げ、コロナ禍でも外出する回数を減らし安心して出品することが出来る取り組みの効果が徐々に表れている。また、ポスター等ビジュアル変更の効果もあって、女性出品者が増え、新規出品者は74名あった。昨年度に引き続き、感染防止策を徹底し、コロナ禍においても継続して、市民に作品発表及び鑑賞の場を提供することができた。</p>		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会 後援/中日新聞社		

事業名	第42回春日井市短詩型文学祭		
日時	1/28(土)～2/12(日) 9:00～17:00 14日間開催		
会場	交流アトリウム		
入場料等	出品無料		
入場者数	6,636名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	1,457,790円	助成金	—
		支出	1,457,790円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象として、文化活動の普及・振興を図ることを目的とした市民公募の文学祭。作品展では、特別賞受賞作品45作品及び秀逸作品91作品と審査員及び実行委員による作品16作品も同時に展示し、表彰式を2/5(日)に開催した。</p> <p>応募/23,015作品(一般の部875作品、小・中学生の部22,140作品)</p> <p>入賞/569作品 作品集無料</p>		

	<p>【一般の部】短歌、俳句、川柳、狂俳、詩</p> <p>【小・中学生の部】短歌、俳句、川柳、詩</p> <p>賞/市長賞、財団理事長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会賞、秀逸、優秀（小・中学生のみ）、佳作</p>
成 果	<p>市民の文芸作品の発表と鑑賞の場を提供している本事業。令和3年度から無料配布している作品集を今年は2,000冊配布した。また、「歌人鈴掛真短歌ワークショップ」や「夏井いつき句会ライブ」等、自主事業との連携によって、短詩型文学祭の知名度向上につながった結果、一般部の応募数が過去最高を記録した。また、作品展では、これまで特別賞受賞作品のみを展示していたが、今年度から秀逸まで展示作品数を増やしたことにより、来場者数が昨年度比で1,700名程増加した。</p>
関連企画	<p>歌人・鈴掛真短歌ワークショップ春日井歌会</p> <p>6/18（土）14:00～16:30 会議室 参加費:500円</p> <p>参加者数24名 講師:鈴掛真（歌人）</p>
備 考	<p>主催/春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会</p>

3 共催事業

事業名	小野道風公奉賛第74回全国書道展覧会「道風展」		
日時	【本展】10/30(日)～11/6(日) 9:00～16:30 8日間開催 【VR展】10/30(日)～12/4(日) 36日間開催 【学生半紙の部巡回展】11/7(月)～12/4(日) 28日間		
会場	【本展】市庁舎、ギャラリー、交流アトリウム、道風記念館 【VR展】観光コンベンション協会会長賞以上の作品をインターネット上で公開 【学生半紙の部巡回展】JR春日井駅自由通路展示コーナー		
入場料等	出品料第1～4部 5,000円 第5部 3,000円 学生条幅の部 1,300円 学生半紙の部 400円		
入場者数	5,192名	入場率	—
収入	6,954,633円	助成金	—
自主財源比率	—	支出	6,501,372円
事業内容	日本三跡の一人、小野道風の偉業を讃えて開催する全国公募の書道展覧会。開会式を10/31(日)、表彰式を11/3(水・祝)に開催した。 応募/5,488点 第1部(漢字)142点、第2部(かな)44点、第3部(近代詩文)63点 第4部(少字数)44点、第5部(小品)0点 一般部合計293点 学生条幅の部596点、学生半紙の部4,599点 学生部合計5,195点		
成果	出品数は、昨年度に比べ416点減少したが、VR展へのアクセスは302件増加した。県外から初出品する団体や個人も増えており、学生条幅の部では昨年から引き続き県外の強豪校からも出品があった。また、開会式と表彰式を統合して展覧会初日に開催したことで、華やかな開会となった。一部賞品を従来の盾から実用的な筆に変更することで、賞品代や郵送費の削減につながり、収支面で健全な運営ができています。		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会、小野道風公遺跡保存会、中日新聞社 後援/愛知県教育委員会 協賛/一般社団法人春日井市観光コンベンション協会		

事業名	2022 春日井市民第九演奏会		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限(573席、56%) 合唱団のスペース拡大のため合唱台を拡大。また、マスクを着用しての合唱を行った。		
日時	12/4(日) 15:00～17:00		
会場	市民会館		
出演	指揮:井村誠貴 独唱:飯田みち代(ソプラノ)、石原まりあ(アルト)、古屋彰久(テノール)、池田真己(バリトン) 管弦楽:春日井市交響楽団 合唱:春日井市民第九合唱団 合唱指導:松下伸也、西畑佳澄		
入場料等	1,500円		
入場者数	489名	入場率	85%
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—	支出	—
事業内容	市民参加による毎年恒例の第九演奏会。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策とり		

	ながら、ソリスト、春日井市交響楽団と合わせて約 180 名の出演者が舞台に立った。
成 果	今年度も感染症拡大防止のため合唱団、交響楽団共に人数を減らしての開催となったが、合唱団の配置を舞台上に戻し、ソリストや春日井市交響楽団とともに一体感のある力強い演奏を行った。当日配布したプログラムの裏に「ブラボー」と表記し、声を出せなくても感動を伝えられる工夫を講じた。マスク着用を感じさせない力強い交響曲第 9 番の合唱も合わせて、年の瀬の市民会館を大いに盛り上げた。
備 考	主催/春日井市、春日井市教育委員会、公益財団法人かすがい市民文化財団、春日井市民第九演奏会実行委員会 共催/春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団

4 協力事業

事業名	サマー・スクールかすがい		
新型コロナウイルス感染症による影響	出演者自身の感染により、1公演が代役出演となった。		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる		
入場料	無料		
参加者数	336名	入場率	—
		自主財源比率	—
収入	—	助成金	—
		支出	—
事業内容	<p>夏休み期間中の子どもの居場所の確保を目的に、春日井市が主催する事業。これに財団が推薦した5組のアーティストを派遣し、30分～1時間程度の演奏やワークショップを実施。参加した小学生に文化に触れる機会を提供した。財団職員はアーティストの選定、プログラムの立案、当日運営補助、機材の提供、およびそれらに関わる関係者連絡・調整を担当した。</p> <p>(1) ニュートンズ 松本一策（ヴァイオリン）、中川香（ヴァイオリン）、安藤弘子（ピアノ） ① 7/26（火）出川小学校＜多目的室＞参加者:40名 ② 8/9（火）山王小学校＜音楽室＞参加者:27名 ③ 8/19（金）勝川小学校＜児童会室＞参加者:34名</p> <p>(2) トリオ・ミシシッピ 石川貴憲（サクソフォン）、鈴木豊大（打楽器）、丸尾祐嗣（ピアノ） ① 7/27（水）不二小学校＜体育館＞参加者:30名 ② 8/8（月）大手小学校＜図書室＞参加者:44名 ※8/8は出演予定者がコロナ感染のため、石川貴憲（サクソフォン）、弓立翔哉（打楽器）、犬飼裕哉（ピアノ）の3名が演奏した。</p> <p>(3) FUN 波多野江莉（ユーフォニアム）、左合栞（打楽器）、河原翌真（ピアノ） ① 8/23（火）北城小学校＜体育館＞参加者:30名 ② 8/24（水）春日井小学校＜音楽室＞参加者:38名</p> <p>(4) 佐古健一（チェロ）、原田綾子（ピアノ） ① 8/25（木）丸田小学校＜音楽室＞参加者:26名 ② 8/30（火）松山小学校＜音楽室＞参加者:37名</p> <p>(5) 日本舞踊藤楊會 藤間勘揚（日本舞踊）、藤間勘之介（日本舞踊） 8/17（水）八幡小学校＜体育館＞参加者:30名</p>		
成果	<p>昨年はアーティスト（2団体）を紹介するにとどまり運営には関与しなかったが、今年から正式な協力事業となったことによって、財団の持つ人的なつながりを生かし、弦楽器や舞踊を含む、多彩なプログラムを提供することができた。また、財団の若手音楽家支援事業で活動中のグループを筆頭に、春日井市出身、在住のアーティストに多数参加</p>		

	していただいたことにより、アーティストと地域の結びつきを強めることができた。
備 考	主催/春日井市 ※8/9を除く全ての回に、財団職員が1名または2名同行した。

事業名	ストリートピアノの設置・運用およびイベント実施		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
入場料等	無料		
参加者数	約200名	利用率	—
		自主財源比率	—
収 入	—	助成金	—
支出	—		
事業内容	<p>一般社団法人春日井市観光コンベンション協会からの依頼により、JR高蔵寺駅市民コーナー、都市緑化植物園、JR春日井駅2階自由通路にストリートピアノを設置するにあたり、そのお披露目イベントの開催に協力した。具体的には、ストリートピアノの設置・運用に係る助言や、イベントの際の演奏者の紹介および備品等の借用について、これまでの財団の活動のなかで培われた人的繋がりや職員の知見を活かしたサポートを行った。</p> <p>① JR高蔵寺駅市民コーナー 5/29(日) 午前～午後 参加者:約150名 紹介した演奏者:内匠慧(ピアノ)、林里紗(フルート)、伊禮漢那(ピアノ)</p> <p>② JR春日井駅2階自由通路 7/2(土) 午後 参加者:約50名 紹介した演奏者:内匠慧(ピアノ)、沖田唯(ピアノ)</p> <p>※都市緑化植物園でのイベントには財団から具体的な協力を行っていない。</p>		
成 果	<p>着手から実施日までの期間が非常に短く、かつ主催する観光コンベンション協会では演奏者とのつながりや音楽イベントの実施経験が多くなかった。そこで同種のイベントの実績をもった財団が関わることで、円滑にイベントを実施することができた。また財団としても、駅という生活に密接にかかわる場所でのイベントへの関与により、今後の新しい事業展開や、広報について検討する良い機会となった。</p>		
備 考	主催/一般社団法人春日井市観光コンベンション協会		

事業名	“書”を学び “書”を楽しもう！(令和4年度伝統文化体験・継承事業)		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる	4 地域コミュニティ形成—つながる	
日 時	9/4(日)、11(日)、19(月祝)、25(日)		
参加者数	計239名	入場率	—
		自主財源比率	—
収 入	—	助成金	—
支出	—		
事業内容	<p>市主催の書のワークショップ。市内で活躍している書家を講師とし、子どもたちが書に親しむ機会とする。また、俳句・川柳のワークショップも開催し、日本の伝統文化の魅力を感じられる機会を設ける。</p>		

体験講座 全7講座全8回、(1)～(6)の講師は春日井市民美術展覧会審査会員

(1) 9/4(日)午前「大きな筆で元気な字を書こう！」

講師：武内峰敏

対象：小学5年生～中学生と保護者 参加料300円 参加者計47名

(2) 9/4(日)午後「ろうけつ染めでうちわに字を書こう！」

講師：原田透谷

対象：小学3年生～中学生と保護者 参加料300円 参加者30名

(3) 9/4(日)午後「挑戦！『鳥獣戯画』」

講師：加藤洋一朗

対象：小学5年生～中学生と保護者 参加料300円 参加者計20名

(4) 9/11(日)午後「古い書体で自分の名前を書いてみよう！」

講師：梶田文宗

対象：小学3年生～中学生と保護者 参加料300円 参加者30名

(5) 9/19(月祝)午前「筆文字の年賀状を書いてみよう！」

講師：川本大幽、川本赫汀

対象：小・中学生と保護者 参加料無料 参加者78名

(6) 9/19(月祝)午後「五・七・五で楽しもう！俳句・川柳に挑戦！」

講師：戸田富士夫

対象：小学3年生～中学生と保護者 参加料100円 参加者10名

(7) 9/25(日)午前「篆刻(てんこく)に挑戦！～雅印を作ろう～」

講師：小川大僕

対象：小学5年生～中学生と保護者 参加料500円 参加者22名

(8) 9/25(日)午後「芸術書道に挑戦！～色紙作品を作ろう～」

講師：内田貴士士(県立春日井西高校書道教員・書道部顧問)

対象：小学生3年生～中学生と保護者 参加料無料 参加者12名

成 果

財団主催の「かすがい文化フェスティバル」とはまた違った書道文化の振興を目的としたイベントに、当財団の当日運営のサポートを提供して、催物の質の向上に貢献できた。

備 考

主催／春日井市、協力／春日井市美術協会

5 職員派遣

事業名	職員派遣
事業内容 実績	<p>(1) ホールボランティア「パティオ・ウェーブ広報セクション研修会」 4/22 (金) 10:00～11:30 パティオ池鯛鮎 (知立市文化会館)</p> <p>(2) 愛公文セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ 5/17 (火)、7/8 (金)、8/18 (木) 10:00～17:00 愛知芸術文化センター</p> <p>(3) 中部楽器技術専門学校カリキュラム「コンサート制作」 6/2 (木) 10:50～12:20 中部楽器技術専門学校</p> <p>(4) 知多市勤労文化会館「サポーター研修」 6/10 (金) 14:30～16:30 知多市勤労文化会館</p> <p>(5) 企画力アップ研修 地域文化ホールの実践1「地域文化施設と市民協働のあり方1」 6/27 (月) 13:30～16:30 茨木市市民総合センター</p> <p>(6) ゆめたろうプラザ「フロントスタッフ養成講座」 8/21 (日) 13:30～15:30 武豊町民会館</p> <p>(7) 七ツ寺共同スタジオ 50周年記念企画トークイベント 9/18 (日) 14:00～16:00 七ツ寺共同スタジオ</p> <p>(8) 政治経済の諸相 (アート・マネジメント)「コンサート制作の現場」 10/6 (木) 11:05～12:35 南山大学</p> <p>(9) クラシックコンサートの裏の裏大暴露トーク “一本勝負” 120分!! 1/22 (日) 14:00～16:00 スタジオ・ピオティータ</p> <p>(10) 演奏家とコーディネーターのためのアウトリーチ人材養成講座 2/4 (土) 13:00～18:00 名古屋芸術大学アートスクエア</p> <p>※派遣職員 米本一成 (2)、小松淳子 (2、4、6)、山川愛 (1、5、7) 西野裕之 (3、8、9、10)</p>
成 果	<p>劇場、音楽堂等の活性化に関する法律第8条に基づき、劇場間連携を促進するため、上記の研修等に当財団職員を派遣。派遣職員の専門性向上及び劇場間のネットワーク構築に役立っている。</p>
備 考	

令和4年度 施設利用状況まとめ（令和4年4月～令和5年3月）

(1) 文芸館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免 公用					
1 ギャラリー	52	51	98.1%	312	285	91.3%	43	貸館	31	一般	23	16,907	47,038	35	26,321
										減免	5	3,697			
										公用	3	2,476			
										受託	3	3,484			
2 視聴覚ホール	308	215	69.8%	924	461	49.9%	265	貸館	215	一般	102	8,928	20,466	188	14,033
										減免	15	1,704			
										公用	98	6,714			
										受託	0	0			
3 会議室	314	305	97.1%	1,884	1,250	66.3%	363	貸館	301	一般	21	544	8,366	287	5,360
										減免	55	1,158			
										公用	225	4,791			
										受託	4	108			
4 文化活動室	308	256	83.1%	924	521	56.4%	303	貸館	274	一般	12	412	5,123	230	3,293
										減免	130	2,243			
										公用	132	1,839			
										受託	4	139			
5 和室	308	101	32.8%	1,848	257	13.9%	102	貸館	47	一般	37	271	428	40	168
										減免	0	0			
										公用	10	43			
										受託	0	0			
6 交流アトリウム	314	309	98.4%	942	1,210	128.5%	492	貸館	91	一般	1	700	22,544	435	16,240
										減免	5	1,732			
										公用	85	4,611			
										受託	20	7,130			
合計							1,568	貸館	959	一般	196	27,762	103,965	1,215	65,415
										減免	210	10,534			
										公用	553	20,474			
										受託	31	10,861			
7 市民会館	308	227	73.7%	924	596	64.5%	201	貸館	169	一般	133	50,563	75,231	142	38,634
										減免	2	774			
										公用	34	15,410			
										受託	0	0			
8 市民会館								財団 自主	32	共催	5	1,798	141.5%	194.7%	
										主催	27	6,686			

(2) 市民会館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免 公用					
7 市民会館	308	227	73.7%	924	596	64.5%	201	貸館	169	一般	133	50,563	75,231	142	38,634
										減免	2	774			
										公用	34	15,410			
										受託	0	0			
8 市民会館								財団 自主	32	共催	5	1,798	141.5%	194.7%	
										主催	27	6,686			

※利用率＝利用日数／利用可能日数 ※回転率＝利用区分／利用可能区分
 ※利用可能区分＝利用可能日数／月×利用時間3区分(午前・午後・夜間)ただし、ギャラリーは週単位の貸館で時間区分なし。
 ※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。
 ※交流アトリウムの回転率が100%を超えるのは、同日複数の利用があるため

2 入館者数一覧(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	26	26	26	28	31	26	163	27	26	24	24	24	27	152	315	312	101.0%
ギャラリー	利用件数	4	2	3	4	3	4	20	5	4	2	6	3	3	23	43	35	122.9%
	利用者数	2,345	8,245	1,839	3,011	3,484	3,796	22,720	4,028	2,486	961	4,536	6,547	5,760	24,318	47,038	26,321	178.7%
視聴覚ホール	利用件数	15	15	24	30	19	31	134	28	27	21	18	18	19	131	265	188	141.0%
	利用者数	1,360	1,296	1,609	2,063	1,567	1,909	9,804	2,318	2,243	1,708	1,643	910	1,840	10,662	20,466	14,033	145.8%
会議室	利用件数	28	31	34	38	32	36	199	28	29	27	27	22	31	164	363	287	126.5%
	利用者数	473	731	744	591	613	797	3,949	1,423	617	458	640	408	871	4,417	8,366	5,360	156.1%
文化活動室	利用件数	22	23	29	29	23	27	153	23	30	20	23	27	27	150	303	230	131.7%
	利用者数	263	410	509	548	465	416	2,611	657	420	330	338	372	395	2,512	5,123	3,293	155.6%
和室	利用件数	2	3	10	11	6	13	45	11	9	9	11	10	7	57	102	40	255.0%
	利用者数	7	9	44	63	23	46	192	72	37	12	47	55	13	236	428	168	254.8%
交流アトリウム	利用件数	31	30	30	28	33	39	191	41	67	76	48	37	32	301	492	435	113.1%
	利用者数	827	852	509	54	521	2,448	5,211	818	2,213	639	7,717	4,095	1,851	17,333	22,544	16,240	138.8%
スカイフォーラム	利用者数	3,319	3,659	2,094	2,254	2,520	2,373	16,219	2,487	3,011	4,252	3,971	4,407	4,759	22,887	39,106	-	-
ボランティアルーム	利用者数	54	44	53	76	75	40	342	19	30	51	63	78	55	296	638	471	135.5%
文化情報プラザ	利用者数	606	826	642	741	643	745	4,203	1,037	690	586	226	384	521	3,444	7,647	4,957	154.3%
日本自分史センター	利用者数	24	20	18	18	26	27	133	27	12	16	14	24	43	136	269	160	168.1%
計	利用件数	102	104	130	140	116	150	742	136	166	155	133	117	119	826	1,568	1,215	129.1%
	利用者数	9,278	16,092	8,061	9,419	9,937	12,597	65,384	12,886	11,759	9,013	19,195	17,280	16,108	86,241	151,625	71,003	213.5%

※文化情報プラザの利用者数が令和5年1月より減少しているのは、チケット販売窓口を文芸館2階事務室カウンターに移転したことから、文化情報プラザでのチラシ等の閲覧人数はカウントせず、チケット購入者数のみをカウントすることになったため。

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	26	26	26	27	26	26	157	26	26	24	24	24	27	151	308	221	139.4%
市民会館	利用件数	14	15	12	19	20	18	98	21	18	14	17	14	19	103	201	142	141.5%
	利用者数	3,739	5,311	4,598	6,685	3,675	7,356	31,364	11,651	7,949	5,525	3,707	7,429	7,606	43,867	75,231	38,634	194.7%